

シロアリ防除剤や農薬関連の新製品をはじめ、商品のラインアップを拡大していきます。

事業概要

アグロ事業部は、農業用の殺虫剤、除草剤、殺菌剤や土壌くん蒸剤、およびカ・ハエ・ゴキブリなど衛生害虫の殺虫剤等を製造・販売しています。売上の大部分は、農業用殺虫剤および土壌くん蒸剤が占めています。

2009年5月期の営業概況

世界的な農薬需要の増加を受け、売上・採算ともに改善しました。

2009年5月期は、石油をはじめ資源価格が高騰する中、穀物価格の値上がりも続いたため農家の生産意欲が高まり、世界的に農薬需要が増加しました。当社の農薬事業もこうした情勢を背景に、売上が増加しました。また、当事業部は、ここ数年の厳しい環境の中で、固定費の削減や不採算品の整理を行ってきました。こうした体質強化策が、採算性の向上につながりました。

研究開発では“毎年1品目の新製品上市”を目標に掲げ、当期は2009年5月にシロアリ防除剤「TMカウンター」を発売。7年ぶりに、シロアリ剤事業を再開しました。既存製品では、クロルピクリンの新剤型である「クロピクフロー」の使用により、イチゴをはじめとするハウス作物の収量アップが認められ、売上を伸ばしました。新製品の天敵ウィルス殺虫剤「ハスモン天敵」は、収穫当日でも使用できる安全性が注目を集めています。また、医薬品殺虫剤「サフロチンMC」は、抵抗性のゴキブリへの有効性が注目され、使用量が拡大しました。

今後の展開

農薬展着剤など新製品の開発とともに、既存製品の適用拡大を進めます。

2010年5月期に入って、世界経済の後退の影響もあり、農薬需要にかげりが出ています。また、原料関係の高値も継続し、厳しい情勢となっています。

アグロ事業部では、新製品の開発とともに、既存製品の普及拡大を進めていきます。連作障害が発生するハウス農業分野での潜在需要が大きい「クロピクフロー」は、イチゴをはじめトマト、花き類などの高採算作物をターゲットとします。「ダイアジノン5%粒剤」は、医薬用外劇物の指定が解除され普通物となったため、扱いやすさをアピールし、普及拡大に取り組んでいきます。

新製品については、農薬を均一に付着させる展着剤(NK701)の発売を予定しています。農薬展着剤分野は、当社として初めての参入となります。また、他社との提携による新製品の導入や、既存製品の買収も積極的に進めます。

品質と採算性の向上については、鹿島工場の設備更新を加速します。今後とも構造改革、さらなるコストダウンの検討や製品構成の改善に取り組み、体質強化を進めていきます。



サフロチンMC



ハスモン天敵



TMカウンター



クロピクフロー



ダイアジノン